

「光の道」構想に関する意見

意見提出元	株式会社高砂本家
意見項目	意見内容
1. 超高速ブロードバンド 基盤の未整備エリア(約 10%の世帯)における 基盤整備の在り方につ いてどのように考える か。	基盤の整備率は世界一と聞いている。 未整備エリアの整備の為に1兆円を大きく上回る所要額が必要と しているが、整備しても使用されないと意味がない。基盤の整備 率が世界一のわりに利用率は世界20位弱と聞いている。ユー ザーが超高速ブロードバンドを利用するメリットを実感できるような サービスを充実させ、利用率を向上させることの方が先ではない か。
2. 超高速ブロードバンド の利用率(約30%)を向 上させるためには、低廉 な料金で利用可能となる ように、事業者間の公正 競争を一層活性化する ことが適当と考えられる が、NTTの組織形態の 在り方も含め、この点に ついてどのように考える か。	NTT東西会社のアクセス部門を分離し、別会社にして光インフラ 整備を推進させるといった一部の事業者の意見に基づく一方的 な論議が進んでしまっている。グローバル競争をしていかなけれ ばならない時代に、NTTをさらに分離、別会社化して、日本国と して情報通信で世界と戦えるのか心配である。 光インフラ議論でなく、ユーザーが超高速ブロードバンドを利用 するメリットを実感できるようなサービスを充実させるなど、本質 の論議をして欲しい。